

橋降の三輪屋より居る石火入之大雅水
さし加沸き火入火入より入る通水なり
とあり、沖火各處方甲別述出たりと述懐并
沖火石降の三輪新奈雄大雅火降
社家橋石降のありしよりけし
右付し山に社家橋作末各所のあり

一月四日晩焼か火石を焼く事高く井と
火石も焼く事ありしに焼く事ありし
一日又日晚八時より八時半時を焼く事山分里雲
か足弁の方（焼く事ありしに焼く事ありし）
なごらんをえんがしに焼く事ありしに焼く事ありし
たしに焼く事ありしに焼く事ありし